

## あとがき

今年度も、多くの方々からの寄稿を得て、かなり充実した『聖泉論叢』2006を作成することが出来ましたこと、編集委員一同感謝しております。

『聖泉論叢』2005に掲載されたものを除き、研究活動（2006年1月～2006年12月）には、締切日までにお申し出のあったものしか掲載しておりません。そのために会員諸氏の本来掲載すべき重要な研究活動が漏れているかも知れませんが、ご容赦ください。

限られた予算の中で大部の紀要を発行することができるかなと心配も致しましたが、寄稿の申込があったものの、時間切れによるお断りを数名の方々からいただいたのも事実です。こうした現象は例年見られることですが、日々の講義・授業とその準備の他、雑多な学務を抱える困難な状況の中で、多くの方々が寄稿して下さったご苦勞に敬意を表します。

「大学では、教員は社会に役立つ研究を推進し、大学はその成果の発表を積極的に促進しなければならない」と、前委員長が『聖泉論叢』2004のあとがきで記している如く、ここに掲載された諸論文が「社会に役立つ」ものであることを期待します。

## 編集委員

赤井 伸之	國弘 正義
上田 宜子	李 艶
山内高太郎	吉川 栄子